

平成29年度 学校評価



栃木県立宇都宮南高等学校

【教育目標】

- 生きる意欲にあふれた自らの生に積極的に挑む生徒を育てる
- 自ら考え判断し場に応じた適切な行動を選択できる生徒を育てる
- 自己や自己が属する集団の課題に主体的に取り組む生徒を育てる
- 他者とのよりよい人間関係を自ら構築しようと努める生徒を育てる

【目指す学校像】

- 志をはぐくみ、自立する力を高められる学校
- 豊かな人生を送るために必要な知識を有意義に学べる学校
- 伝統や文化を理解し、誠実な人間として成長できる学校
- 地域社会に貢献する、グローバルな人材が育つ学校

【自己評価】

- A…成果が上がった
- B…やや成果があった
- C…あまり成果がなかった
- D…成果がなかった

◇自己評価

重点目標	今年度の主な取り組み	評価	次年度への主な課題・改善策
1. 個を生かし大切にすきめ細やかな指導の実践 ①授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科において、アクティブラーニング等、生徒の主体的・協働的な学習を取り入れた授業の実践。</li> <li>・研究授業週間、公開授業等を通じた、各教科内外での授業研究と改善。</li> <li>・授業改善に関する先進校事例の情報収集並びに先進校訪問。</li> </ul>	B <sup>○</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業はほぼアクティブラーニング型授業が実践された。今後さらに授業改善への取組を進めていく。</li> <li>・授業アンケート結果等も有効利用し、授業改善に反映させるよう努める。</li> <li>・今年度は教員の60%以上が先進校訪問・外部研修等に参加した。さらに参加人数を増やし、より良い授業手法を取り入れて行けるよう体制づくりに努める。</li> </ul>
②自己有用感を育む指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員をはじめホームルーム役員等、リーダーシップをとれる生徒の育成。</li> <li>・生徒の自主的・創造的活動の活性化を目指し、諸行事を通じて生徒たちによる積極的に緻密な企画・運営を実現するための指導。</li> <li>・クラス内の融和を図るとともに自主的・自律的な姿勢の育成につながるホームルーム活動の実践。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内球技大会や宇南高祭などの学校行事の計画運営を、生徒会役員を中心として実行委員会や体育委員主導で実施した。指導継続し生徒自ら行動できる流れの確立に努める。</li> <li>・係や委員だけでなく、各生徒が自主的・主体的に協力するような環境づくりを行うようさらに指導を継続する。</li> </ul>
2. 納得のいく進路実現 ①キャリア形成を意識した、主体的な将来の進路選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通した計画的かつ継続的な進路指導推進に向けた、講演会や大学の模擬授業の実施。</li> <li>・校外模試の計画的実施、事前・事後指導の強化及び結果の分析・対策の充実。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとに、キャリア発達段階に応じた講演会・模擬授業を実施できた。各行事の目的をもう少し明確にすることで、さらに効果が上がるよう努める。</li> <li>・模試の分析を踏まえた指導計画の見直しを行い、学力も向上が見られた。職員の分析会への積極的参加をさらに進める。</li> </ul>
②朝学・面接・家庭学習・教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望・成績等を考慮した、個人面談、三者面談を通じての学習アドバイス並びに適切な進路情報の提供。</li> <li>・学習記録手帳などを活用し、生徒自らの学習時間の確保及び学習サイクルの確立に向けた日常的な指導・管理。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの生徒に意識改善が見られた。意識の足りない生徒への継続的な指導を続けるとともに、保護者とのさらなる共通理解に努める。</li> <li>・手帳を利用して自分の時間を管理できるように適宜助言等を行った。手帳等を自主的に活用できていない生徒には活用を促す。</li> </ul>
3. 部活動・特別活動の充実 ①安全確保、競技力・技術・表現力等の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動への参加の奨励、個々の特性・能力の育成。</li> <li>・生徒部との連携による部活動集会の実施。</li> <li>・集会を通じた通学状況、健康管理状況、環境整備状況等の把握並びに個々の生徒への指導の徹底。</li> </ul>	B <sup>○</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動集会の回数が少なかったため、生徒部と連携し、通学状況、健康管理等、個々の生徒への共通理解を図る機会を増やす。</li> </ul>
②特別活動（部活等）と学習・進路指導および学年指導の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況、通学状況、健康管理等、関係職員間の連携強化並びに個々の生徒への指導に対する共通理解の深化。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動や校外活動等の体験を通して学んだことを自己評価し、文章化して記録する活動をさらに定着していけるよう進める。</li> </ul>

<p>4. グローバル×ローカル人材の育成：世界を意識し地域・社会に貢献する人材の育成</p> <p>①国際交流と国際理解教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校と国際社会、地域社会の懸け橋となるグローバルな視点を持った生徒の育成。</li> <li>・国際理解講演会の開催及び外国人留学生の受け入れと交流実施。</li> <li>・インターアクトクラブによる国際交流活動の実施。</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流と地域連携は本校の重点目標であり、積極的に取り組んだ。本校の伝統となるよう今後さらに取り組みを積み重ねていく。</li> <li>・コナーズビル高校(アメリカ)への交流訪問およびロータリークラブを通じた台湾訪問を行った。希望の生徒も多く、より機会が与えられるよう努める。</li> </ul>
<p>②地域理解・地域連携・地域貢献の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇南アカデミーの企画・開催。</li> <li>・地域を対象とした各種行事の実施および地域行事への参加。</li> </ul>	<p>B<sup>○</sup></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇南アカデミーは、回数は削減したが、充実した内容で実践できた。今後も内容の検討を進める。</li> <li>・インターアクトクラブの会員も確保でき活性化が図られた。ただ、学年が下がるごとに会員数が減少しているので会員数の増加に努める。</li> </ul>
<p>③英語を中心とした会話力・表現能力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT、留学生との交流の機会の設定。</li> <li>・各種大会への参加の促進。</li> <li>・諸活動への参加を通じたコミュニケーション能力の向上。</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT や留学生との交流については、生徒に様々な機会を与えられた。今後さらに積極的に大会等への参加を促し、機会の拡大をはかる。</li> </ul>